

令和6年度使用小学校教科用図書 採択結果及び採択理由

種 目	発 行 者	採 択 理 由
国 語	光村図書出版 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話すこと・聞くことの単元では、カメラを適宜切り替えて個の表情とグループ全体の動き等がわかる実写動画となっており、目的に応じて話の内容をまとめていく工夫を捉えやすくなっている。</li> <li>・目次の次に「国語の学びを見わたそう」のページがあり、前学年との系統性や1年間の学習の流れがつかみやすい。</li> <li>・巻末には発達段階に応じた思考ツールが紹介されており、活用の仕方がわかりやすくまとめられている。</li> <li>・児童の主体的に学ぶ意欲を高めるために、「問い」をもつことを重視し、単元の目標(言語活動)が明確に位置付けられ、活動も児童の興味を喚起するものになっている。</li> <li>・学習の構成が見通しをもとう・とらえよう・ふかめよう・まとめよう・ひろげようという流れになっており、活用を意識した流れになっており単元計画を立てやすい。</li> </ul>
書 写	光村図書出版 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光村図書は、キャラクターの動きやオノマトペで筆使いを示している。2次元コードの数が一番多く、毛筆指導の始まりの3学年に特に多い。</li> <li>また、左手で書く児童に対応した説明動画もある。写真や文字が大きく示され見やすく、課題文字のページにポイントが掲載されている。小学校での書写学習をまとめた「書写ブック」や全学年でSDGsを意識した教材が取り上げられている。</li> </ul>
社 会	教育出版 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの巻にも社会科の学習の仕方を示す特設ページがあり、考えをまとめたり見直したりするのに有効である。各時間のはじめに「この時間の問い」があり、その後「みんなでつくった学習問題」(課題)が設定される構成になっているので、自然な流れで授業を構成しやすい。また、多様な資料が豊富にあり、九州の記述も多い。</li> </ul>
地 図	株式会社 帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国々や等高線ごとの色分けなど、比較的落ち着いた色を使っているので見やすい。小学校で学習していく情報量としては適当であり、一つひとつの都道府県が色分けされ表記しているの、特別な支援を必要とする児童にとっては有効である。各ページに2次元コードがあるので、詳しく知りたいときに使用でき便利である。また、「地図のやくそく」「地図帳の使い方」が詳しく説明されているので、3年生の地図学習の導入時には良いと思われる。「世界と地球儀」では、地球の見方や面積の違いについて、図やグラフで比較されている。日本の各地方の地図、大陸の地図が、日本全体、地球上のどこに位置しているか分かりやすく図で示されている。また、世界のSDGsも入っていて、世界各国の課題やとりくみの様子を学ぶことができる。</li> </ul>
算 数	東京書籍 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の仕上げ問題に、「問題のねらい」やつまづいた時、どのページに戻ればよいか提示され、見直しがスムーズにできる。</li> <li>・「算数の目」という問題を設定しており、次に考えてみたいことが児童の目線で表現されている。</li> <li>・1年導入時に、絵や写真の多い「はじめようさんすう」という大判の教材が用意されている。</li> </ul>
理 科	大日本図書 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本は、「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」「深めよう」の学習過程を進めるためのキーワードが有り、児童が見通しをもって、主体的・対話的な学びが促されるよう工夫がなされている。また、身近なことから問題解決学習を進めていくための資料や2次元コードによるICTを活用した資料が充実している。</li> </ul>
生 活	光村図書出版 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の使い方が説明されており、学習を手助けする手がかりがたくさんあり、どの子も学習がすすめやすい。活動の最後には、したことや思ったことの振り返りもある。生活科で大切にしたい力の視点(「くらべた」「たとえた」「ためした」等)で振り返るようになっているのがよい。別冊が教室外での学習で活用しやすい。</li> </ul>

種 目	発 行 者	採 択 理 由
音 楽	教育出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで音楽に関わることを可能にする考える視点の明示、動画、奏法の視覚化が随所に掲載されており、音楽科に求められている力を身につけさせるのに適した内容となっている。</li> <li>・視覚的に見やすい構成。各学年とも写真、イラストが大きい。抑制された情報量(多すぎない)となっている。</li> <li>・ひとつの単元に楽曲をたくさん入れて、他教科との関連させている。</li> <li>・ユニバーサルデザインを意識した紙面構成になっていたり、他教科との関連をはかる楽曲や様々なジャンルの楽曲を取り入れたりしている点が、特徴的であり、児童の興味や学ぶ意欲を喚起するものとなっている。</li> <li>・「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」で示すとともに、低中学年は発達段階に応じた表記、高学年は要素と楽譜を関連させた表記で示している。</li> <li>・2年生以上は「音楽を表すいろいろな言葉」として、言語活動に生かすための言葉の例が示されている。</li> <li>・巻末曲集「音楽ランド」では、学級でまたは全校で歌うことができるように様々な曲や合奏曲が示されている。</li> </ul>
図画工作	日本文教出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具や材料の扱い方、表現方法、作品づくりの過程や手順を示した図版が多くあることから、子どもたちが用具や材料を活用し、イメージを膨らませながら工夫してつくったり表したりすることができるようになっている。</li> <li>・デジタルコンテンツの資料(作品360度等)が多く用意され、「教科書美術館」や「図工の見方」のページからも、自分の作品についての見方や感じ方を深められるようになっている。</li> <li>・国内の美術作品の図版の数が61と多く、大分県の小鹿田焼や大分県立美術館のシャドウ・スティックの森が掲載されている。また、「アート・カード」などを使って感じ取ったことを伝え合う活動も示されている。</li> </ul>
家 庭	開隆堂出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ページ当たりの文字数が程よい量で、余白も適宜あり、視覚的に見やすく、情報が入りやすい。単元の始まりに「なぜ～だろう」という課題提起が多く使われており、課題解決的な学習を意識した構成になっている。また、見開きで配色が工夫されており、児童の思考の流れに沿った記述・配列になっている。</li> </ul>
保 健	株式会社大修館書店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料やページ数は他社と比べて平均的であるが、必要な内容が網羅され、文字数や資料の数も適量となっている。そのため、無理なく1時間完結の授業が展開できる。</li> <li>・毎時間の最後に二次元コードから取り組むことのできる「ウェブクイズ」が用意されており、子どもの意欲を持たせながら簡単に知識・技能を確認できる。また、章末には学んだことを確認できる簡易テストのようなページが用意されており、授業者の評価の手助けとなる。</li> </ul>
道 徳	株式会社光文書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他社に比べ、教材数が多く学校の重点内容項目に設定されたものを複数の資料で実施しやすく、余剰の時間にも対応が可能な教科書である。巻頭のオリエンテーションが充実しており各学年で統一した内容であり、思考ツールを利用した整理の仕方等、道徳科の学び方について詳しく解説している。情報モラル、いじめ問題、SDGs等今日的課題についても適切に配置され児童の発達段階に応じた指導が段階的にできる構成になっている。</li> </ul>
英 語	株式会社三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三省堂は、実際に英語を使って互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を充実させている。五つの領域がバランスよく学習できる。とくに話すことのやり取りの活動場面が多く設定されており、児童が英語に親しみやすい構成となっている。</li> <li>・大単元の最初に目標が設定され、児童がゴールまでの見通しを持ち、目標を持ちながら学べる構成になっている。</li> <li>・言語活動のサポートとなる別冊の単語ブックが充実している。</li> <li>・教科書各ページに二次元コードがついており、児童の学習をサポートできるようになっている。またワークシートも付属されており、授業と家庭学習が連携できるような工夫が見られる。</li> </ul>